

問合せ 議事課 (内線 351)

市民と議会との意見交換会を

開催しました

建設産業委員会

江南市議会では、市民の皆さんから直接ご意見やご提案をいただき、議会として積極的な政策提言を行うため「市民と議会との意見交換会」を、平成28年11月5日に布袋ふれあい会館で、6日に市民体育会館および中央コミュニティ・センター（老人福祉センター）でそれぞれ開催しました。

当日は、3会場で32人の市民の皆さんにご参加をいただき、各常任委員会のテーマについて活発な意見交換が行われました。

会場	担当委員会	参加人数
布袋ふれあい会館	建設産業委員会	16人
市民体育会館	総務委員会	7人
中央コミュニティ・センター (老人福祉センター)	厚生文教委員会	9人

▼布袋駅東の計画について

問 土地の買収は行ったのか。また、どのような複合施設を考えているのか。

答 市はコンサルタントへ委託したところですが、9000㎡の土地取得については、まだこれからです。来年度、周辺の道路整備が行われますが、個々に売られてしまうと一体的な開発ができなくなってしまうので、市としては、子育て支援などの各施設を集約した複合施設を考えています。残りの部分は、民間の活力を用いた、例えばPFI方式など検討しながら、にぎわいのある施設を作っていくことという考えであり、これから煮詰めていくこととなります。

問 今後は少子高齢化がさらに進み、女性も働いて税金を納めていかないとならない。女性活躍支援センターのようなものを、この駅東の施設に設けてほしい。親子図書館・食育支援・病児保育センター・子育てママのハローワークなどができれば、若い女性も働きやすい環境ができてくるのではないか。

答 これからは女性が社会に進出していく時代です。若い世代に住んでもら

やすい、子育てしやすい環境の整備を、市長とともに検討を進めています。

▼生活圏について

問 愛北病院がなくなつてから、小牧市民病院へ行くことが多くなつた。小折地域の方の9割近くは布袋駅を使っているのに、布袋駅周辺の開発に期待を寄せている。鉄道高架下の利用も検討してほしい。

また、国道155号沿いの、特に五条川と交差する部分は桜の季節はきれいなので、「道の駅」やふれあい広場のようものを誘致できないか。

答 市内の中で農産物の直売所などを設置したいという思いはあります。



▼交通利便性について

問 布袋駅に特急が停まらないことがポイント。テンシヤルを低くしている要因である。全てとはいわれないが、何本かに1本でも停められないか。

答 1日当たりの乗降客が、ある規定値を超えると停車駅とする目安となりますが、またその人数に達していません。

現在、江南駅に行っている会社・工場などの送迎バスが布袋駅に乗り入れるようになると、乗降客も増え、江南駅周辺の渋滞緩和にもつながるので、呼び掛けていきます。

▼公共交通網について

問 線路東には路線バスがなく不便だが、どう考えているか。

答 現在、大口町のコミュニティバスが江南駅に乗り入れており、そちらにいくらか補助をしている状況です。公共交通としての巡回バスの必要性については、現況のいこまいカー（デマンド型タクシー）で対応できるとの意見もありますので、もう少しばらばら状況を見ていきたいと思えます。

▼農地転用について

問 規制と既得の中で守られた土地ではあるが、江南市にあった土地の使われ方がなされるべきで、市がさらに発展していくためには弾力的な運用をもって開発・転用がなされるべきと思うがどうか。

答 市内の農業専用地域は、今や虫食い状態になっているのが現実です。農業は一定規模の大きな土地を集約して行われるのが本来ですが、土地の所有者の関係もあつてそうならないのも事実です。農業も一定の規模を確保して総合的に行われるべきだと思います。市の面積30kmのうち、約75%が市街化調整区域とされている江南市においては、現在の10万人の人口が今後40年間で6万8000人になると予想されています。

総務委員会

▼交通安全対策について

問 信号機のLED化を進めてほしいが、どうなっているか。道路の白線や停止線が消えかけている所が多い。通勤時間帯の渋滞を避けようと、細い抜け道を、スピードを上げて通過する車両があつて危ない。幹線道路の渋滞がひどい。渋滞緩和のため、もっと矢印信号を増やしてほしい。多くが警察の問題だが、市としても当事者意識を持ち、強く要求してほしい。

問 裏道対策として、一宮市が設置しているかまほこ型段差を、江南市でも市道や通学路に設けてスピードダウンを図ってはどうか。

答 信号機のLED化は、順次進められ、道路標示などは、県公安委員会に要望します。通学路の安全対策として、看板を設置し、注意喚起を求めます。矢印信号には、右折帯の設置も必要です。路側帯は、道路管理者の仕事なので、市に要望していきます。気付いたら、どんどん声を上げていただきたいです。



▼公共施設の使用料見直しについて

問 有料化は、市民活動を活発にするよう求めながら停滞させるもので、逆行している。少ない活動費でやっている団体に減免はないのか。子ども会や老人団体への減免について再考してほしい。市として歳出削減はできなかったのか。市議会でもどのような議論があつたのか。

答 減免を一切設けないことに対し、ボランティア団体や老人会などから苦情が出ています。一方で、公共施設の値上げは利用者には厳しい面があります。市民の税金で維持管理されているので、施設を使わない人の立場も考える必要があります。使用料の値上げには、激変緩和の措置が盛り込まれています。特に、無料から有料になつた施設の利用状況をチェックしていかなければなりません。

▼空き家対策について

問 空き家が放置されている。空き家対策について、市の取り組みはどうなっているのか。

答 空き家対策の推進に関する特別措置法に基づいて、来年度、空き家対策計画を策定する予定です。今年度は、市内の空き家の実態調査を行っているところです。

▼野焼きについて

問 畑の雑草を、夕方から夜間に燃やす人が後を絶たない。市役所に繰り返し通報しているが、なんとかならないか。

答 市の広報や地域の回覧板でも、野外焼却を止めるよう、繰り返し注意勧

告がされています。

▼自治会の活動について

問 高齢化、核家族化で、自治会の班長の仕事が大変なので、班を分割して負担を減らしてほしいが、どこにも意見が出せない。市長に手紙を出したが、地域でやってほしいとの返事だけだつた。

問 今は隣近所にも無関心な状態。大災害も起きている。地域の活性化のためにも、もっと議員が地元の問題を吸い上げ、コーディネーターの役割を果たしてほしい。地域でふらつと立ち寄れるサロンのようなものができればよい。

答 この地域でも起きていることなので、日ごろから清掃などを通じて、隣近所の顔が見える関係にすることが必要です。自治会の活動の在り方は、区会で話し合つて決めていくものではないでしょうか。

▼防犯カメラ設置について

問 公園内で不審者情報があつたことをきっかけに、公園や資源ごみ集積場、住宅内道路に防犯カメラ設置の要望を出した。これに対し、市役所まちづくり課は、プライバシー保護のため、公園内に防犯カメラは設置できないと回答した。プライバシー侵害の恐れから住民間に賛否両論があり、運用面、費用対効果でどうしたらよいのか、苦慮している。防犯カメラ設置をどう考えているのか。

答 防犯カメラ設置について、市としての統一的な考えはないと思います。市は、名鉄江南駅前付近と駐輪場に防犯

カメラを設置していますが、運用に当たつてのガイドラインを設けています。地域の資源ごみ集積場には監視カメラを貸し出しています。防犯カメラの運用は非常に難しい点が多いので、それ以外の方法で地域の防犯を考えた方がよいのではないかと思います。



▼政務活動費について

問 年間1人当たり15万円の議員の政務活動費について、市議会の取り組みはどうか。先払いか後払いか、領収書などの公開、使途基準はどうなっているのか。

答 条例で、支出根拠、使途基準を定め、議員個人ではなく、党派としての活動に対し支給しています。視察旅費などは、概算で仮払い支給し、研修後に精算しています。収支報告書の内容は、会派ごと項目ごとに作成し、市ホームページで公開しています。市民と市内の団体は、議会事務局で領収書や視察報告書の閲覧と写しの交付が可能です。

厚生文教委員会

▼放課後子ども教室について

問 異年齢の児童間の交流について説明をお願いしたい。

答 放課後子ども教室は、小学校1年生から6年生の全児童を対象に、月曜・水曜・金曜日の放課後と夏休みの期間において、古知野西、古知野南、布袋、宮田、藤里、門弟山小学校の6校で、安全管理員などの指導員を付けて実施しています。そうした中で、1年生から6年生と一緒に遊んだり、勉強したりして交流が生まれることです。

▼学童保育施設の設定オーバーについて

問 学童保育を受け入れ可能な施設が市内に10力所あるが、例えば、古知野児童館などで、施設によっては定員オーバーになっている中で、今後の展開で、市内全小学校で小学校4年生までの受け入れを目指すことは、到底無理ではないか。

答 小学校4年生まで受け入れ可能になるよう、今年度中に施設の整備が図られていく予定です。

▼スクールガードについて

問 スクールガードの方は、ボランティアなのか。お礼や表彰などはないのか。

答 市が加入しているボランティア保険のみでお願いしています。

▼通学路のグリーンベルトについて

問 現在、野白町では、新興住宅が建ちから学校までの通学路においてグリーンベルトが標示されていないので、交通安全故が多くなる前に、野白町を含めて、一度、市内全域において通学路でグリーンベルトが標示されているのかどうか調べて、通学路での児童の交通安全を図るような整備をしてほしい。

答 以前、議会からグリーンベルトの幅を縮小して、できるだけ市内全域にわたって通学路にグリーンベルトが標示できるよう、行政に提言した経緯があります。平成27年度決算では、通学路カラー整備工事において、546万8040円が執行されていますが、現在、市内の整備状況が分かりませんので、一度、野白町を含めて、市内全域における通学路でグリーンベルトの標示状況を調べて、市へ整備をお願いしていきます。



▼学校と地域の連携について

問 市のコミュニティ・スクールのモデル校である西部中学校と古知野西小学校で取り組まれていることは、今までも実施されているコミュニティ・スポーツ祭に教職員が加わっただけのものであり、文部科学省が示している、地域住民の中から、各年代の差による人たちが社会で多様な経験をした人たちを委員として選出し、広く意見を求めるべきだ。

答 まだ検討して1年目の段階で、従来のが加わった取り組みでしたが、来年の3月までに文部科学省で示されている委員が選任され、現在、本格的に学校運営協議会の発足に向けて準備が進められています。地域から、どのような方を学校運営協議会の委員に選出するのかポイントにはなりますが、次年度からのコミュニティ・スクールに期待しています。

▼地域の公共施設のバリアフリー化について

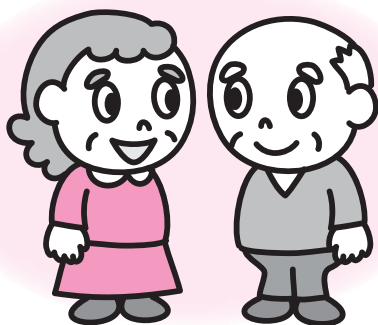
問 高齢者が多くなり、地域のサロンとアフリ化（2階上がるホームエレベーター設置など）を行い、高齢者が行きやすい施設の環境整備をお願いしたい。また、区の集会場などのバリアフリー化ができるよう、市からの補助金制度を設けてほしい。

答 高齢者が多くなり、地域のサロンとアフリ化（2階上がるホームエレベーター設置など）を行い、高齢者が行きやすい施設の環境整備をお願いしたい。また、区の集会場などのバリアフリー化ができるよう、市からの補助金制度を設けてほしい。

答 次年度からの介護保険制度の見直しにより、市の財政が圧迫されることから、介護保険を使わないような方策が必要になってきます。高齢化が進む中で、今後は、介護が必要にならないよう、高齢者の生きがいや社会参加の役割がある地域のサロン活動などが必要になってくることから、こうした施設に、例えばトイレなどのバリアフリー化を整備するなど、市へ提言していきます。

▼区長・町総代会の内容について

問 年度当初に行われる区長・町総代会は、行政側から、区への一方的なお願いに終始しているのでは、例えばグループに分けて、各区の意見をお互いに交換し合える場所を設けてほしい。



答 各区の置かれている課題などの情報交換のよい機会であり、市へ提言していきます。

ホームページは <http://www.city.konan.lg.jp/>

▼図書館の在り方について
市内には、図書館が1カ所しかなく、地域によっては図書館まで遠いが、移動図書館については考えていないのか。

答 以前、議会で設置した図書館問題特別委員会の協議の中では、移動図書館についての検討はしていませんが、現在、図書館の配本サービスがあるので、それを利用してほしい。



▼図書館の図書検索について
現在、図書を検索できる場所がどこなのか分からないが、例えば、地域の身近な学校、学供や公民館などで図書を検索できるようにしてほしい。

答 現在は、市役所や各支所で検索可能と思いますが、また、図書検索箇所においても、今後、増やしていけるかどうか調査・研究していきます。

▼地域包括支援システムの構築について
現在、民生委員の役割が見えてこない。将来地域の中で、買い物や病院の送迎などをお互いに助け合い、支え合つには、その体制づくりのために行政のバックアップが必要であると思うが、将来像が見えてこない。また、行政側だけでは

く、地域の代表の方も入って、地域を支える仕組みを構築していくことも必要ではないか。

答 現在、高齢者生きがい課、地域包括支援センター、地域の民生委員など、それぞれのニーズに基づいて検討会議が行われています。例えば、地域のサロンを活用するなど、地域を支え合つ体制づくりが求められています。現状は、どこまで進行しているのか、よく分からないのが実態なので、今後は、皆さんから意見を出していただき、地域包括ケアシステムの構築に向けて進めていきたい。また、議会も地域の皆さんの意見を取り入れて、地域の包括支援体制をつくる必要があると考えますので、市へ提言していきたい。



アンケートを

実施しました

今後の運営の参考とさせていただきますため、ご来場の方々にアンケートをお願いしたところ、29人の方にご協力をいただきました。

「意見交換会を何で知りましたか」の問いには、「広報こうなん」が一番多く、次いで「地区回覧」という結果でした。

「開催日時」については、おおむね参加しやすかったとの回答でした。

また、「議会のようすをご覧になりますか」の問いには、「毎回見る」方が一番多い結果となりました。

このアンケートの結果を活かして、今後の意見交換会を開催していきます。次回開催日が決まり次第、広報こうなんや市ホームページなどでお知らせします。

なお、今回の意見交換会の内容は、市ホームページでも掲載していますので、ご覧ください。

活発な意見交換となるよう、
多くの市民の皆さんのご参加を
お待ちしております。

